

# ボーリング柱状図

調査名 平成16年度標津断層帯調査業務委託

ボーリング	9								
-------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 平成16年度地震関係基礎調査交付金事業

シート 1

ボーリング名	S04-Mu-3		調査位置	標津郡中標津町字北武佐			北緯	43° 38' 39.8"						
発注機関	北海道立地質研究所 地域地質部			調査期間	平成16年10月13日 ~ 16年10月16日			東経	144° 55' 14.2"					
調査業者名	サンコーコンサルタント株式会社 札幌支店 電話(011-837-5537)		主任技師	田邊 謹也		現場代理人	越谷 賢		コア鑑定者	越谷 賢		ボーリング責任者	辻川 信夫	
孔口標高	162.65m	角	180°上 90° 0°下		方	北0° 270°西 90°東 180°南		地盤勾配	鉛直 水平0° 鉛直90° 10°		使用機種	試錐機 利根TDC-1G エンジン ヤンマーNFD-13		
総掘進長	20.00m	度	0°		向			ハンマー落下用具	トンビ		ポンプ	丸山903		

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験						原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 (月日)	掘進 (月日)					
											N 値			打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10							20	30	40	50	60
											10	20	30														
1	161.73	0.92	0.92	崖錐堆積物	褐黒明灰				軽石混り腐植土・軽石混り火山灰質砂からなる。	10/13 0.65																	
2	160.19	1.54	2.46	砂・火山灰質砂	灰褐黒				全体に葉理が発達し、一部礫を含む。層理面の傾斜はほぼ水平。2.05~2.10m:火山灰質シルト薄層挟在。																		
3	159.40	0.79	3.25	礫混り火山灰質砂	灰褐				塊状で安山岩・凝灰質砂岩・軽石の亜円~亜角礫が混在する。																		
4	158.43	0.97	4.22	砂礫	暗灰				亜円~亜角の安山岩礫が主体で、基質は火山灰質シルト。所々、火山灰質シルト質砂の薄層が挟在。																		
5																											
6					凝灰質礫岩	黄褐			比較的淘汰が悪い亜円~亜角礫が主体。基質は凝灰質細粒~中粒砂。礫種は軽石・玄武岩質安山岩・安山岩が主体で稀に珪長岩を含む。上部は塊状で、下部は葉理が弱く発達する。																		
7						褐灰																					
9	153.71	4.72	8.94		凝灰質シルト岩	明灰~褐灰			葉理が弱く発達する。上部は砂質。下部は極粗粒砂岩の薄層を挟在する。下位との境界は波状を呈す(コンポリュート葉理?)。																		
10	153.20	0.51	9.45		凝灰質砂岩	灰褐			葉理が発達した中粒~粗粒砂岩。軽石・安山岩の円礫を含む。5~10cm単位で正級化構造が発達する。																		
11	150.85	2.35	11.80		凝灰質砂岩	褐灰			10.82~11.11m:凝灰質シルト薄層が挟在する。																		
12					凝灰質シルト岩	橙褐			塊状で軽石・安山岩の亜円~亜角礫が散在する。所々葉理が弱く発達。下位層から漸移する。																		
13	149.23	1.62	13.42		凝灰質砂岩	灰褐			12.44~12.76m:凝灰質砂岩が挟在し、層理面はほぼ水平。																		
14	148.25	0.98	14.40		凝灰質砂岩	灰褐			細粒~粗粒砂岩。軽石・安山岩・玄武岩の亜円~亜角礫を含む。一部凝灰質シルト岩挟在。																		
15	147.29	0.96	15.36		凝灰質シルト岩	橙褐			塊状でスコリア・軽石が散在する。最下部は礫を多含する。																		
16	146.55	0.74	16.10		シルト砂岩	灰褐			上部は炭質物を含む細粒砂~シルト。下部は軽石を多含する細粒~中粒砂。																		
17	146.06 145.80	0.49 0.26	16.59 16.85		スコリア凝灰岩	灰褐			級化構造発達。																		
18					凝灰質砂岩	灰			級化構造発達。																		
19	144.13	1.67	18.52		凝灰質砂岩	灰~明灰			中粒~極粗粒砂が主体。一部、シルトがシーム状に挟在する。上部軽石質礫岩が挟在する。																		
20	142.65	1.48	20.00		シルト岩	淡灰			比較的炭質で全体に炭質物が散在する。所々炭質物濃集し暗褐色を呈す。上部緑灰色の細粒砂岩が挟在する。																		

10/13

10/14

10/15

FT年代測定  
FT年代測定

16.25  
S04-Mu-3-16.25  
16.64  
S04-Mu-3-16.64  
16.87